

加西市消防団 活動内容の改善に向けた アンケート結果報告書



令和4年3月18日

加西市役所危機管理課・加西消防署

アンケートの概要について

【目的】

加西市の安全を守る消防団員の負担軽減及び時代に即した消防団運営に向けて改善を図ることを目的にアンケートを実施した。

【対象】

全団員：1227名

【方法】

WEBアンケート

【結果】

568名分の回答が得られた。



アンケートの内容について

質問一覧

- 1 あなたの年齢をお答え下さい
- 2 あなたの消防団加入期間を教えてください
- 3 あなたの主たるご職業をお答えください
- 4 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください
- 5 あなたが入団を決意した理由は何ですか
- 6 消防団への加入年数は何年くらいが適正だと思いますか
- 7 消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか
- 8 消防団活動を通じて不満を感じることは何ですか
- 9 あなたが現場活動を通じて感じることは何ですか
- 10 ポンプ操法大会についてどう思いますか
- 11 礼式大会についてどう思いますか
- 12 消防団員としてどんな訓練を受けたいと思いますか
- 13 消防団活動へのご意見があれば自由にご記入ください



1 あなたの年齢をお答え下さい

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (568)	回答率 (%)
A 10代	1	1%
B 20代	76	13%
C 30代	349	61%
D 40代	136	24%
E 50代	6	1%

「30代」の団員からの回答が61%を占めた。



2 あなたの消防団加入期間を教えてください

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (568)	回答率 (%)
A 5年未満	134	24%
B 5～10年	230	40%
C 11年～15年	128	23%
D 16年～20年	53	9%
E 21年以上	23	4%

在団年数「5～10年」の団員が40%、11年～21年以上在団している団員からの回答も合計で36%であった。



3 あなたの主たるご職業をお答えください

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (568)	回答率 (%)
A 企業・会社に就労	447	79%
B 公務員	55	10%
C 自営業	49	9%
D 農林業	5	1%
E 学生・フリーター	3	1%
F その他	9	2%

「企業・会社等に就労」の回答が79%と最も多い。



4 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください。

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (568)	回答率 (%)
A 先輩団員の勧誘	493	87%
B 家族の勧め	33	6%
C 地元区長の勧誘	25	4%
D 自ら進んで	17	3%

「先輩団員からの勧誘」が87%と一番多い。



4 あなたが消防団に入団したきっかけを教えてください。

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・町の消防団の高齢化や人手不足で仕方なく。
- ・入らなければ、地域で生きていくのに肩身が狭いから仕方なく入った。
- ・地元じゃないので付き合いを深めるため。
- ・村に住んでいたら入らないといけないから。
- ・村八分にされると聞いたのでやむを得なく入団しました。
- ・人員不足の為、強制的に入団しました。
- ・入りたくなかったのですが、ほぼ強制みたいな感じで勧誘されました。
- ・地元に住んだら付き合いがあるから。
- ・家族の進めもあった。



5 あなたが入団を決意した理由は何ですか ※2つまで選択可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (736)	回答率 (%)
A 地域のために役に立ちたかったから	67	12%
B 消防団へのあこがれがあったから	3	1%
C 消防団活動を通じて他の団員や地域との交流を深められるから	129	23%
D 入団することが当たり前だと思っていたから	207	36%
E 勧誘を断ることができなかったから	330	58%

「勧誘を断ることができなかったから」の回答が58%と最も多い。



5 あなたが入団を決意した理由は何ですか

※2つまで選択可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 地元で家を建てたから。
- ・ アウトドアが好きで、延長として防災の知識や技術に興味があった。
- ・ 地元の消防団員の人数が少なく入らざる得なかったため。
- ・ 公務員だからという理由だけで強制的に入団しないといけない状態になっています。
- ・ 入らないと村八分にされるので。
- ・ 子供会等の今後の付き合いにも影響しそうなので入団した。
- ・ 正直退団金に魅力を感じたのが入団のきっかけでした。
- ・ 町内の付き合いであり、入団するのが当たり前やと思っていました。他の町の年配の方や若い子等の知らない人と知り合いになれ入団して良かったと思っています。
- ・ 村付き合いで入団せざるを得なかった、できれば断りたかった。



6 消防団への加入年数は何年くらいが適正だと思いますか。

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

	選択肢	回答数 (568)	回答率 (%)
A	3年から5年	161	28%
B	6年から10年	290	51%
C	11年から15年	78	14%
D	16年から20年	8	1%

「6年から10年」の回答が51%と最も多い。



6 消防団への加入年数は何年くらいが適正だと思いますか。

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 5年程は経験しないと新人に指導する力量が備わらない。10年程度で抜けるのが理想。
- ・ 加入年数ではなく、大事なのは活動年数。責任感等があっても活動しない人では意味がない。
- ・ 何年が適正かと言われても新入団員が全く入って来ないので、抜ける事できません。
- ・ 定年制も必要と考えます。40歳程度。
- ・ 10年以内に退団できるなど、終わりが見える「やめられる保証」があると嬉しい。
- ・ 仕事、家庭があるので無理に続ける必要は感じない。いつでも辞めていいと思う。
- ・ 団員の体力的なこともあり、遅くとも40代前半には退団するのが適切だと思います。
- ・ 理想は後任者が入団するまでだと思うが、年齢的に活動可能な期間は限られていると思う。
- ・ 次に勧誘する人が居ない(減ってきている)ので、加入年数は延びると思っている。



7 消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (824)	回答率 (%)
A 地域の人から頼られ、やりがいを感じている	27	5%
B 防災への知識が高まった	112	20%
C 消火技術が身についた	108	19%
D 地域に貢献できた	99	17%
E 多くの人と知り合えてよかった	237	42%
F 日常生活では経験できないことをできた (現場活動など)	71	13%
G 特にない	170	30%

「多くの人と知り合えてよかった」が最も多く42%であった。
一方で「特にない」の回答も30%となった。



7 消防団活動を通じてよかったと感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 小学校を卒業してから出会ってなかった地元に住んでる同世代の人達と再び談笑した事。
- ・ 地域とのつながりが保てた。
- ・ 自分のまちは自分たちで守る。地域に住む人が共に自主防災に励む観点で「分団」はとても良い機能を果たしていると感じています。
- ・ 防災意識は高まったと思う。村での活動を通じて人間関係の構築に役立っていると思う。
- ・ 部長と言う立場を経験することが出来て、長としての意識の勉強が出来た。
- ・ 部長、会計を任せられるいい経験になった。
- ・ 無料で飲食できるところ。
- ・ 多くの人と出会えたこと。地域のコミュニティの一つになっている。
- ・ A～Fのどれも良かったと感じている。



8 消防団活動を通じて不満に感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (1021)	回答率 (%)
A 現場活動で身の危険を感じる	11	2%
B 消防資器材や個人装備が不足している	32	6%
C 夜警・年末警戒での待機が長い	107	19%
D ポンプ操法・礼式大会の負担が大きい	465	82%
E 本業への支障をきたしている	148	26%
F 家族への迷惑がかかる	105	18%
G 報酬が少ない	129	23%
H 特に不満はない	24	4%

「ポンプ操法・礼式大会の負担が大きい」の回答が82%と最も多い。次いで「本業へ支障をきたしている」の回答が26%となった。



8 消防団活動を通じて不満に感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 火事の際の出動時に、危険なのに報酬が少なすぎます。待遇面を改善して欲しいです。
- ・ 礼式、操法の練習は毎日連続で拘束されるので仕事への負担が大きい。
- ・ 地元企業以外の場合、消防団活動に関する理解がほぼない。
- ・ お酒を飲む集まりになっている。
- ・ 個人振込になり、ほとんど活動していない人にもお金が振り込まれる。
- ・ 仕事や子育てなどに責任を果たせず支障をきたしながら活動をしているのが現状です。
- ・ 消防に入りたくないから地元に帰らない人もいる。過疎化の原因となっている。
- ・ 礼式、ポンプ操法への時間。家族を犠牲にしての夜中までの夜警。
- ・ 子育ての参加ができないなど、家族への負担が大きい。



9 あなたが現場活動を通じて感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (761)	回答率 (%)
A 現場活動にやりがいを感じる	41	7%
B 消火技術やポンプ操作の知識・技術が足りない	157	28%
C 充実した団員数で現場活動できている	42	7%
D 団員が集まらず現場活動ができていない	244	43%
E 身の危険を感じたり、怪我することが怖い	61	11%
F 消防署との連携をもっと図りたい	29	5%
G 特にない	187	33%

「団員が集まらず現場活動ができていない」43%と最も多い。
「消火技術やポンプ操作の知識・技術が足りない」の回答も28%であった。



9 あなたが現場活動を通じて感じることは何ですか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・現場に人数が集まらない。また出勤がかかった際には、会社には無理を言って帰らせてもらっている。
- ・実際に火事があっても、職場が遠いためほとんど集まることができない。
- ・現場で消火活動をした際には、他では経験することのない貴重な経験ができて良かったと思いました。
- ・操法や礼式大会で覚えさせられることは現場で役立った事がないです。
- ・何をどうすればよいかがいまいち分からず、現場での指示、命令系統を明確にしてほしい。
- ・火災による出勤要請があっても、皆、仕事を抜けるのが困難だったり、勤務先が遠かったりで対応できません。
- ・消防職員が帰った後も、24時間体制で再燃警戒の見張りをさせられる。
- ・手当等の報酬が少ない。
- ・現場において、消防職員からの指示が少なくどのように動くべきか、分からないことがある。



10 ポンプ操法大会についてどう思いますか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (969)	回答率 (%)
A ポンプ操法大会に向けた訓練にやりがいを感じる。	11	2%
B ポンプ操法大会を毎年開催してほしい。	6	1%
C 訓練期間を増やし、さらに技術の習得を図りたい。	3	1%
D ポンプ操法大会の負担が大きい。	484	85%
E ポンプ操法大会に出場したくない。	417	73%
F 現状のままで良い。	48	8%

「ポンプ操法大会の負担が大きい・出場したくない」の回答が85%・73%と最も大きい。



10 ポンプ操法大会についてどう思いますか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 現場活動に役立つ、実践的な訓練に変更すべきだと思う。
- ・ 操法大会で学べる消火やポンプ操作の知識や技術は必要だと考えるが、やり方を工夫するべき。
- ・ 操法が形式化しすぎて、実戦で役に立たない。廃止してほしい。
- ・ 身体的にも本業にもかなりの負荷・負担で、自分の時間も犠牲となっている。
- ・ 消防訓練というより単なるショーになっており、負担が大きいだけで魅力を感じない。
- ・ 操作方法などを学ぶ上では有効かもしれないが、大会のために遅くまで練習するのは間違っている。
- ・ 勝つことが目標となってしまっている。
- ・ 操法の訓練が嫌で幽霊団員になる者、他市に引っ越す者がたくさんいる。
- ・ 訓練の必要性を感じない。練習期間中は団員が疲弊し防災能力の低下を招いており危険に感じる。



11 礼式大会についてどう思いますか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (974)	回答率 (%)
A 礼式大会に向けた訓練にやりがいを感じる。	9	2%
B 礼式大会を毎年開催してほしい。	0	0%
C 訓練期間を増やし、さらに技術の習得を図りたい。	1	0%
D 礼式大会の負担が大きい。	478	84%
E 礼式大会に出場したくない。	439	77%
F 現状のままで良い。	47	8%

「礼式大会の負担が大きい・出場したくない」の回答が84%・77%と最も大きい。



11 礼式大会についてどう思いますか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 火災の時に役に立つのか疑問。役に立たないものは削除していくべき。
- ・ 規律とか団結というが負担が多すぎる。毎日練習して家族や仕事の負担が大きい。
- ・ 練習は憂鬱だったが終わったときの達成感があった。楽しいこともあった。知り合いも増えた。
- ・ 礼式の指導については大会では無く、年次研修で行う形式にするなど負担軽減が急務と思われる。
- ・ 選手全員の予定を揃えることが困難。
- ・ 負担が大きいせいで団員が辞めてしまいます。中止をお願いします。
- ・ 仕事終わりに時間を削ってまで礼式の練習等する意味が分からない為、廃止にすべき。
- ・ 礼式の期待できる効果が分からない。
- ・ 近隣市町では実施されておらず、少なからず若者人口流出の一因でもあると思います。



12 消防団員としてどんな訓練を受けたいと思いますか。 ※2つまで回答可

回答率 = 回答数 / 全回答者数 (568)

選択肢	回答数 (886)	回答率 (%)
A 消火技術・資機材の取り扱い方法などの火災対応訓練	247	43%
B 土嚢の作成、積み方などの水防訓練	67	12%
C 心肺蘇生法、応急手当などの救急訓練	142	25%
D ポンプ操法大会・礼式大会に向けた訓練	11	2%
E 震災に備えての防災訓練	308	54%
F 災害現場活動について学ぶための座学	111	20%

「震災に備えての防災訓練」の回答が54%と最も大きい。
次いで「消火技術・資機材の取り扱い方法などの火災対応訓練」の回答が43%となった。



12 消防団員としてどんな訓練を受けたいと思いますか。 ※2つまで回答可

その他の意見（自由記載欄から抜粋 ※一部要約）

- ・ 器具の使い方や実際の火災時の動きなど、消防署から直に実用的なことを教えてほしい。
- ・ 消防団員の出動頻度の高い事案の訓練が良いと思います。
- ・ 人員不足の消防団だけでは対応できない場面が出てくるはずで、これからはその地区の住人が全員で自主防災活動をしていくという視点が必要です。
- ・ 各地域に見合った訓練・講習が必要。今後は差し迫る南海トラフ等、震災関連の訓練も必要だと思う。
- ・ 操法や礼式訓練よりも、現場で生かされるような事を教えて欲しい。
- ・ 1番必要なのは、震災への備えだと思う。
- ・ 近年は火災より震災、豪雨に備えた避難誘導訓練などが必要だと思います。
- ・ 大災害への備えであれば、各部毎に消火部隊、救護部隊など分けて役割が被る場合は副となる役割をもつのは如何でしょうか？(正 消火、副 救護)部隊など
- ・ 現実的に役立つものであれば訓練・座学問わず何でもお願い致します。



13 消防団活動へのご意見があれば自由にご記入ください。

～主に下記の項目に対し、改善を求める声が多く寄せられた～

ポンプ操法・礼式大会等の負担

- ・ 大会に向けた練習に対しての不満や負担。大会自体を廃止する要望。

新入団員の確保、退団年齢の課題

- ・ 新入団員確保の困難。若者の市外流出への懸念。いつ退団できるのか先の見えない不安。

仕事や家庭への影響

- ・ 本業への影響。子育てや家庭への負担。私生活への支障。

団員報酬の改善

- ・ 活動内容に対する報酬の不満。ほとんど参加しない団員への不平等感。



13 消防団活動へのご意見があれば自由にご記入ください

代表的な意見を抜粋。 ※一部要約

- ・ 新入団員確保のためにも、生活の弊害にならないように改善をお願いします。
- ・ 本業では無いので緊急出役した際は時間給や割増などを充実すべきだと思う。
- ・ 加西市の若者の市外流出を止めるためにも、現役団員への負担軽減に取り組んでほしい。
- ・ 現状の活動では本業に支障をきたし過ぎている。お金ややり甲斐よりも休みが必要ではないか。
- ・ 新入団員がなかなか増えません。消防団に入るメリット(報酬を上げるなど)がもう少しあると入団者も多くなると思います。
- ・ いわゆる幽霊団員も多数いて、一部団員のみに負荷が掛かっている。組織体制を見直すべき。
- ・ ポンプ操法、礼式大会が仕事、家族の負担となっており、廃止の方向で考えて欲しい。
- ・ 地域から若者が減りいつ退団できるか分からない。せめて定年制を導入してほしい。
- ・ これまでの形に拘る前例主義ではなく、目的と今の社会の状況により適合した形で組織の再編や活動の見直しなど行い、早急に持続可能な形へ変えていく必要を強く感じます。



調査結果まとめ

アンケートの結果から加西市消防団の抱える課題が可視化された。

- ・ 団員の高齢化、新入団員の担い手不足
- ・ 団員、家族の生活への負担
- ・ 待遇や環境、訓練行事等への不満 etc

消防団は地域防災の中核であり必要不可欠な存在であるが、将来的な組織体制が危ぶまれる現状であり、これらの課題の解決が急務である。

この調査結果が、消防団の活性化、団活動と団員自身の生活の両立に繋がる一助になることを期待し、本報告書の結びとする。

